

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 24 年 7 月 3 日(火)

第 12 号

発行人 校長 鈴木史良

団結した壮行会

—上級生、下級生共に思いを伝え合い、更なる高みへ—

6月27日(水)の5校時、体育館で壮行会が行われました。生徒会本部の進行のもと、1、2年生の前で各部ごとに決意表明が発表されると、壁に「全国制覇」「県大会出場」「初戦必勝」「努力・根性・情熱」等、各部の目標が大きく掲げられました。また、いつの時代からか始まった伝統セレモニー、それぞれのキャプテンたちが部の後輩である下級生代表から必勝を願う鉢巻きを締めてもらうシーンも印象的でした。今年は男子バレー一部が中体連に参加できます。このことは何よりもうれしいことです。



勢揃いした3年生のりりしい姿

その後1、2年生代表で構成される応援団が勇ましく入場し、応援団長の指揮のもと、校歌が歌われ始めました。今年の応援も見事で、皆が声をしぼりあげ、弓なりに反って腹の底から歌い上げられた校歌。応援団をはじめとする1、2年生全員の気持ちのこもった歌声でした。この日のために昼休みや帰りの会等、忙しい中を練習してきた成果ですね。

応援は「勝利の拍手」、「応援団長による檄文」、「エール」と続けました。1、2年生の一糸乱れぬ応援、声が枯れても更に大きな声を出そうとする態度を眼前にして、下級生の“心”が3年生のやる気と響き合い、「悔いのないよう全力で頑張るぞ!」と意欲を新たにした3年生も多かったと思います。



この気迫! 見事な応援が響く

蒼葉俳句会優秀作品発表

今年度も蒼葉俳句会が行われました。ねらいは、表現を磨き言葉についてのセンスを高めよう、みんなで作品を読み合い感動を共有しよう、の2つです。生徒たちには、一つは「感動を伝える」、もう一つは「中体連に向けて」というテーマが提示されました。「新俳句」などで季語がなかったり、字余りになったりしてもかまわないという約束で、生徒たちは俳句作りに励みました。そのなかで見事特選、入選に輝いた作品を紹介いたします。



《 感動部門 》

特選 大粒の涙の後は笑顔あり 遠藤梨乃（3年）

入選 汗流し声を枯らした仲間たち全て出し切ろうあのグラウンドで 山口輝（3年）

入選 ムカデ走 友との絆も結んでく 杉山量右（3年）

《ユーモア部門》

特選 鬼なんてもう言わないで 1年生 上野隼哉（3年）

入選 人込みで叫んでしまった「迷子です。」 勝又健太（2年）

蒼葉祭体育の部の感動を俳句にした作品、部活動を謳った作品が上位に並びました。ユーモア部門の勝又君の作品は東京（校外教室）での実体験でしょうか。

入賞した作品以外にも、すばらしい作品がたくさんありました。その中から私の心に残った作品を紹介します。

最近 最近 最近 固くなってる父の肩 原川昌大（1年）

百足走 文法活用 たいへんだ 岩本 彩（2年）

目に映る景色のすべて光ってる 大庭はずき（3年）

※ 全作品を玄関付近の廊下に掲示してありますので、ご来校の折にご覧ください。

7月の主要予定

7月 2日(月) 3年生租税教室

4日(水) 全校集会 委員会タイム

5日(木) 3年生進路説明会

6日(金) 読み聞かせ③

7日(土) 中体連地区大会(野球・テニス)

8日(日) 英語検定2次試験

10日(月) 短縮日課 PTA教育講演会

11日(火) 生徒集会 委員会タイム

12日(木) ワックスがけ

14日(土)～ 中体連地区大会(野球、バレー、バスケ、テニス、卓球、柔道)

東部大会(水泳) 県大会(陸上)

16日(月) 海の日

17日(火) 短縮日課 合唱練習のため帰りの会延長スタート

18日(水) 委員会タイム

20日(金) 短縮日課 夏休み前学年集会 弁当持参

21日(土) 夏季休業開始

23日(月) 夏期補習(～27日)

24日(火) 3年三者教育相談(～27日)

※ 8/27 夏季休業終了 8/28 登校 短縮日課 全校集会 避難訓練 給食なし下校



中体連頑張るぞー！